

永井地域づくり計画

なが い みらい
永～井 未来

す よ ちいき
住み良い 地域



守りたい、繋げたい、大好き永井

平成 28 年 6 月

永井地域コミュニティ活性化協議会

..... 目 次

はじめにP1

第1章 地域の概要

- 1 地理と概況
 - (1) 位置と概況P2
 - (2) 面積P2
- 2 永井地区の歴史
 - (1) 地名（永井）の由来P2
 - (2) 永井の偉人P3
 - (3) 街道のシンボルP3
- 3 世帯数と人口
 - (1) 現状P4
 - (2) 推移P6

第2章 地域づくり計画

- 1 地域づくり計画の趣旨
 - (1) 地域づくり計画とはP7
 - (2) 地域づくり計画策定までの経過P7
 - (3) 地域づくり計画の期間と見直しP8
- 2 基本計画
 - (1) 目的とスローガンP8
 - (2) 分野別目標P8
- 3 地域課題への取り組み
 - (1) 地域振興P9
 - (2) 人口減少P11
 - (3) 安全安心P12
 - (4) 福祉P13
 - (5) 教育文化P15
 - (6) 生活環境P16

第3章 資料編

- 1 永井地域コミュニティ活性化協議会
 - (1) 地域協働体登録後の経過 . . . P18
 - (2) 規約 . . . P19
 - (3) 役員・代議員名簿 . . . P23
- 2 地域づくりアンケート
 - (1) 配布アンケート . . . P24
 - (2) 集計結果概要版 . . . P26
- 3 地域づくり計画策定委員会
 - (1) 開催日とテーマ . . . P32
 - (2) 各回の概要 . . . P32
 - (3) 策定委員名簿 . . . P36

はじめに

市が進める協働のまちづくりにより、永井地域においても平成 27 年 3 月 22 日に「永井地域コミュニティ活性化協議会」を設立いたしました。当協議会は、市民センターでの社会教育を含めた生涯学習事業と合わせ、地域が主体となった協働体制を充実させるとともに、地域課題の把握・解決に向けた取り組みを各集落や関係団体との協働のもとに永井の地域づくりを推進していくことを目的としております。

地域社会を取り巻く環境は年々変化してきており、永井地域においても、人口減少とともに少子高齢化が加速しており、集落によっては事業への参加や、集落の共同作業等が困難になってきている現状も見られます。

このような地域課題の掘り起こしや対策等を検討し、永井地域住民が協力して、豊かで親しみのある、ますます住みよい地域づくりを推進するための指針として、「地域づくり計画」を策定いたしました。

この地域づくり計画は、平成 27 年 12 月に永井地域住民（高校生以上）を対象に実施したアンケートをもとに、各種団体から推薦していただき構成された策定委員が地域について話し合い、定めたものです。

ご協力いただきました永井地域の方々、集落公民館長や行政区長をはじめ各種団体の方々に心から感謝申し上げます。

平成 28 年 6 月

永井地域コミュニティ活性化協議会

第1章 地域の概要

1 地理と概況

(1) 位置と概況

私たちが住んでいる永井地域は、岩手県一関市の最南端に位置し、宮城県登米市と隣接しており、温暖で豊かな自然に囲まれた比較的災害が少ない地域です。白崖付近に永井小学校、市民センター、農協、郵便局があり永井の中心となっています。西側や南側の低地は、昔は沼でしたが、先人の努力で今は美しい田園に変わっています。

夏川流域、高倉、内ノ目には、整理された水田が広がっていて、コメの収穫量も多く、ナス、キュウリ、トマトなどの野菜づくりや肉牛の飼育・酪農なども盛んです。最近では、専業農家は年々減少傾向にあり兼業農家が多くなっています。

永井で一番高い高倉山からは、広々とした水田が宮城県方面まで見渡せ、遠くに長沼や伊豆沼も眺められます。

江戸時代に船運路として整備された北上川は、当時年貢米を運ぶための重要な水路であり、現在花泉と藤沢町を結ぶ花藤橋周辺も、当時はひらた船が盛んに往来していました。

花藤橋は、永井の白崖に通じる広域農道となっています。

また、永井地区の真ん中を通っている国道342号は、昔石巻街道といわれ、にぎわい、今でも宮城県とを結ぶ大切な道路となっています。

(2) 面積

永井地域の面積は23.09km²であり、花泉町の中では金沢に次ぐ2番目に広い面積です。花泉町全体(126.83km²)の18.2%を占めています。

永井の中では水田と山林が大部分を占めており、のどかな風景が広がっています。

2 永井地区の歴史

(1) 地名(永井)の由来

私たちが暮らす永井の名は、「永井村史抄(佐藤恭著)」によれば、景行天皇朝における日本武尊の従者吉備武彦が東征し、鴻ノ巣の船着に長く滞陣したため長居石を建てたといわれ、「長居」後に「長井村」と呼称されたと伝えられています。

また、大田沼にある如何なる天候時にも絶えることのない岩香清水の名水の湧く井戸の形が長いことから、長井村の名称が出たとも伝えられています。



岩香清水の名水の湧く井戸

(2) 永井の偉人

江戸相撲興隆に功績があり、上覧相撲で徳川家治將軍から「釈迦涅槃像図」の軸物と直筆を賜った、谷風の師匠でもあった関ノ戸億右衛門（永井村横塚出身）



関ノ戸億右衛門の墓

(3) 街道のシンボル

永井村肝入りの小野寺九兵衛が、嘉永4年から5年まで、石巻街道の涌津境から九千沢までの両側に松の木8千余本を植え、旅人を楽しませたとされる嘉栄の松



嘉栄の松

3 世帯数と人口

(1) 現 状

①行政区ごとの世帯数と男女別人口

平成 28 年 4 月 1 日現在

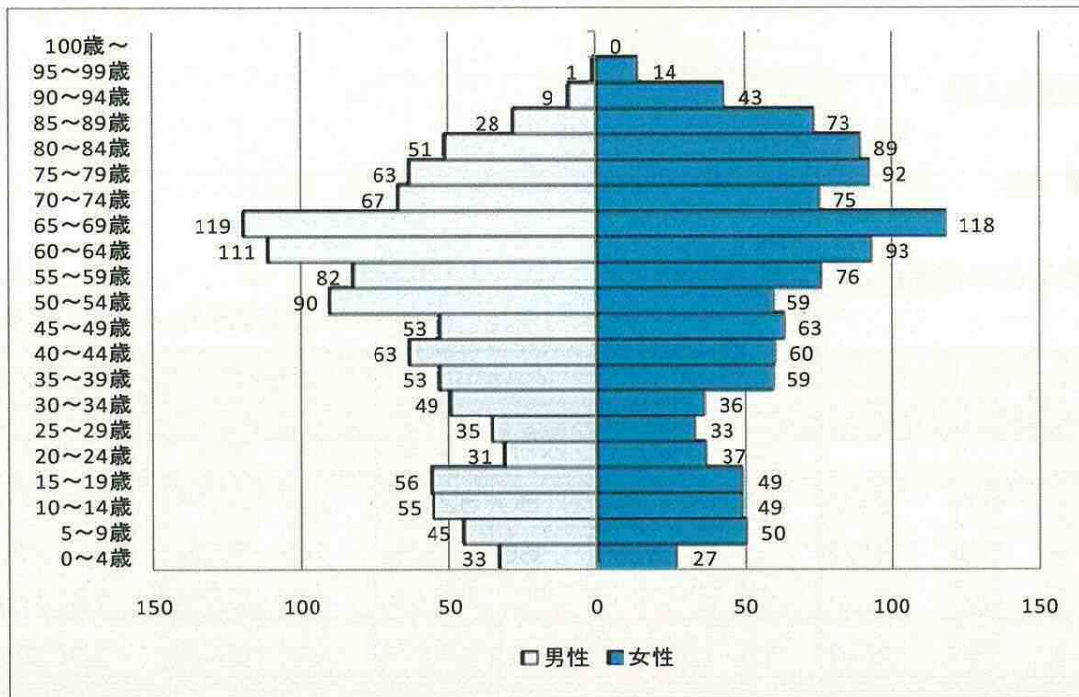
行政区	世帯数	人口合計	55歳以上		65歳以上		14歳以下		高齢者のみ世帯	
			人口	割合	人口	割合	人口	割合	世帯数	割合
1-1	67	248	117	47.2%	80	32.3%	34	13.7%	6	9.0%
1-2	53	166	93	56.0%	66	39.8%	16	9.6%	14	26.4%
2	93	312	148	47.4%	100	32.1%	43	13.8%	13	14.0%
3	79	304	135	44.4%	100	32.9%	41	13.5%	16	20.3%
4	93	284	163	57.4%	115	40.5%	27	9.5%	23	24.7%
5	50	131	86	65.6%	63	48.1%	8	6.1%	16	32.0%
6	75	243	142	58.4%	98	40.3%	23	9.5%	16	21.3%
7	47	144	66	45.8%	44	30.6%	12	8.3%	3	6.4%
8	77	245	132	53.9%	97	39.6%	32	13.1%	14	18.2%
9	77	212	122	57.5%	79	37.3%	23	10.8%	17	22.1%
合 計	711	2,289	1,204	52.6%	842	36.8%	259	11.3%	138	19.4%

②男女・年代別人口と人口ピラミッド

平成 28 年 4 月 1 日現在

区 分	0～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳
男 性	33	45	55	56	31	35	49	53	63	53	90
女 性	27	50	49	49	37	33	36	59	60	63	59
合 計	60	95	104	105	68	68	85	112	123	116	149

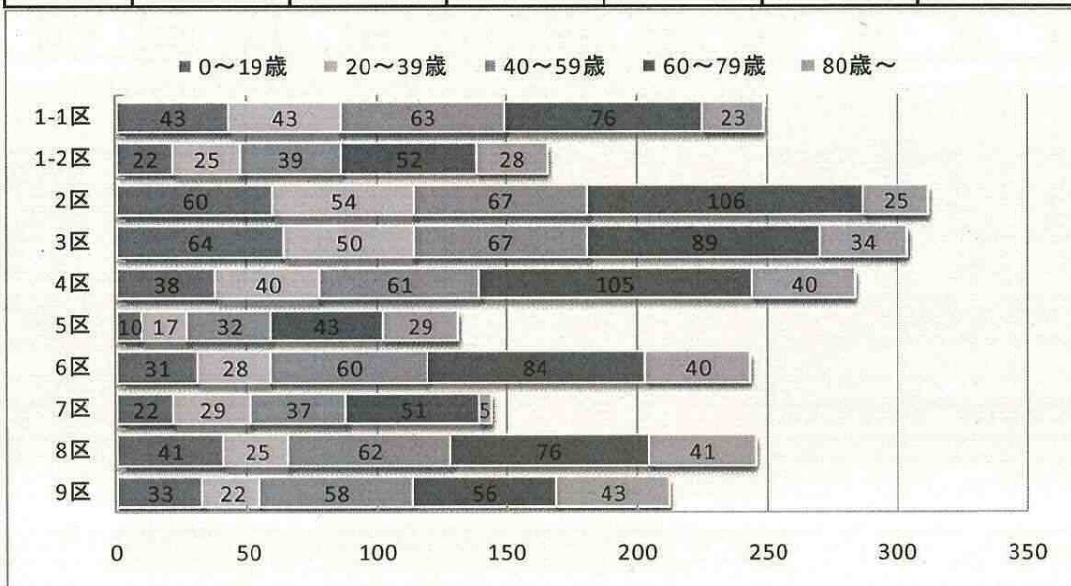
55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	100歳 ～	合 計
82	111	119	67	63	51	28	9	1	0	1,094
76	93	118	75	92	89	73	43	14	0	1,195
158	204	237	142	155	140	101	52	15	0	2,289



③行政区別年代別人口

平成 28 年 4 月 1 日現在

区分	0～19歳	20～39歳	40～59歳	60～79歳	80歳～	合計
1-1区	43	43	63	76	23	248
1-2区	22	25	39	52	28	166
2区	60	54	67	106	25	312
3区	64	50	67	89	34	304
4区	38	40	61	105	40	284
5区	10	17	32	43	29	131
6区	31	28	60	84	40	243
7区	22	29	37	51	5	144
8区	41	25	62	76	41	245
9区	33	22	58	56	43	212
合計	364	333	546	738	308	2,289

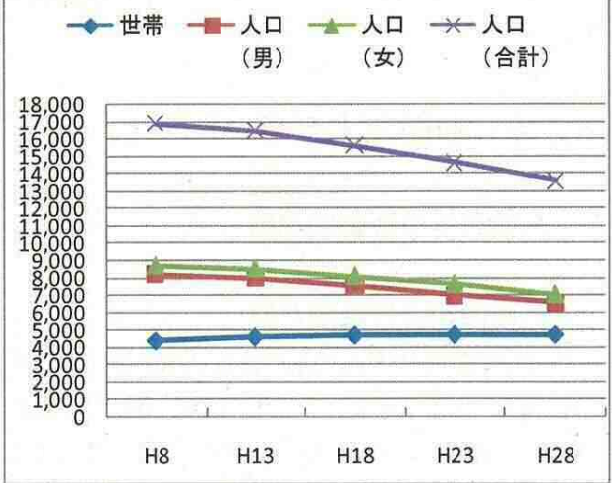
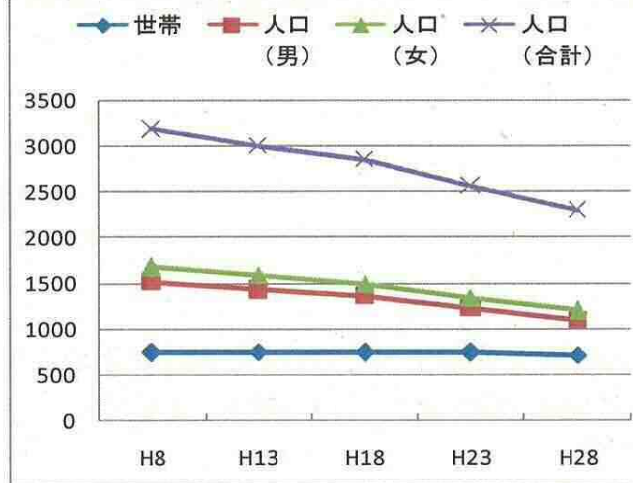


(2) 推 移

①世帯数・男女別人口の推移

基準日 各年4月1日

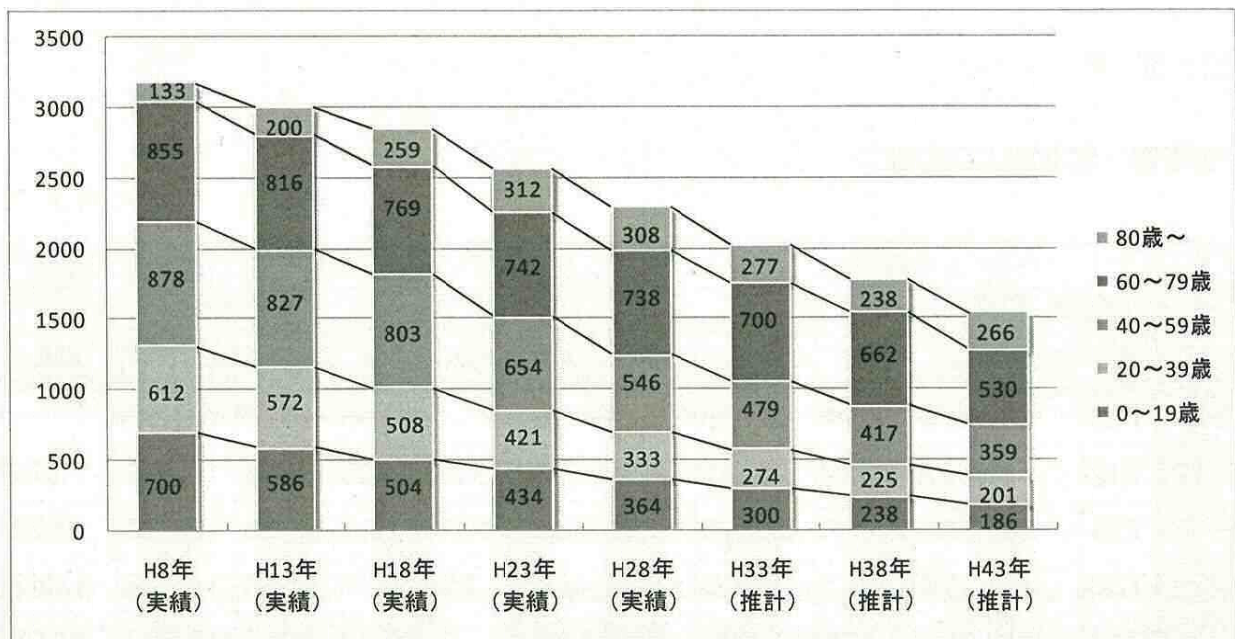
年度	永井地区						花泉町					
	世帯数		人口				世帯数		人口			
	世帯	増減	人口 (男)	人口 (女)	人口 (合計)	増減	世帯	増減	人口 (男)	人口 (女)	人口 (合計)	増減
H8	738		1,504	1,674	3,178		4,354		8,185	8,677	16,862	
H13	742	4	1,422	1,579	3,001	-177	4,562	208	7,985	8,501	16,486	-376
H18	734	-8	1,355	1,488	2,843	-158	4,666	104	7,542	8,083	15,625	-861
H23	733	-1	1,220	1,343	2,563	-280	4,694	28	6,977	7,605	14,582	-1,043
H28	711	-22	1,094	1,195	2,289	-274	4,694	0	6,538	7,019	13,557	-1,025



②H8年からの年代別人口 (実績と推計)

基準日 各年4月1日

	H8年 (実績)	H13年 (実績)	H18年 (実績)	H23年 (実績)	H28年 (実績)	H33年 (推計)	H38年 (推計)	H43年 (推計)
0~19歳	700	586	504	434	364	300	238	186
20~39歳	612	572	508	421	333	274	225	201
40~59歳	878	827	803	654	546	479	417	359
60~79歳	855	816	769	742	738	700	662	530
80歳~	133	200	259	312	308	277	238	266
総人口	3,178	3,001	2,843	2,563	2,289	2,030	1,780	1,542



※推計値は、コーホート変化率法による将来人口予測

第2章 地域づくり計画

1 地域づくり計画の趣旨

(1) 地域づくり計画とは

少子高齢化や人口減少などの地域社会の変化に伴い、永井地域においても様々な地域課題が見えてきました。そこで今後、地域住民自らが地域課題の解決に取り組み、より愛着のある永井地域にしていくことが大切になってきます。

このことを実現させるための指針として、地域を取り巻く問題や課題を整理し、地域の将来像や課題解決のためのアイデアを表したのが、この地域づくり計画です。

(2) 地域づくり計画策定までの経過

まずは永井で生活する地域住民が感じる問題や課題、ずっと守っていききたい永井の良さなどを把握するために、地域づくりアンケートを実施しました。

その後、各種団体の代表者からなる策定委員が5回のワークショップでアンケートの回答を基に永井地域について話し合いを重ねました。

詳しくは、資料として32~35ページに掲載しております。

まずはアンケートの回答を整理し、地域課題に向き合うところからスタートしました。その解決に向け前向きにたくさんのアイデアを出し合い、地域づくり計画としてまとめました。

(3) 地域づくり計画の期間と見直し

この計画は概ね5年間の計画とします。

専門部会や各種団体等との話し合いを設け、計画の実行や見直しを随時行っていきます。

2 基本計画

(1) 目的とスローガン

これから先の永井地区を、子どもから高齢者までの全ての世代・住民にとって、あらゆる面で住み良いといえる明るい地域をつくることを目的に

なが い み ら い す よ ち い き
《永～井未来 住み良い地域》

というスローガンを設定しました。

(2) 分野別目標

- ①地域振興・・・地産地消で活気あふれる先進地永井
- ②人口減少・・・地域の魅力を発信し、誰もが住みたくなる永井
- ③安全・安心・・・災害や犯罪が少なく、安心して暮らせる永井
- ④福祉・・・住民どうしで支え合い、健康でいきいき過ごせる永井
- ⑤教育文化・・・地域の歴史や文化を永く愛し、守っていく永井
- ⑥生活環境・・・豊かな自然と共生し、快適に生活できる永井

3 地域課題への取り組み

地域づくりアンケートから見えた永井の現状と課題を整理し、その解決に向けてのアイデアを以下の表にまとめました。

計画の次の段階で「実施計画」を立てる際に、担当機関や予算、実施期間等の詳細を検討していきます。

(1) 地域振興：地産地消で活気あふれる先進地永井

現状と課題	ワークショップで出たアイデア
<p>住民意識の変化に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人主義になってきている ・地域のことに無関心な人が増えた ・チャレンジ精神がなく、封建的である ・助け合いの精神が薄れてきた ・生活スタイルが多様化し、役員が（昼間）家にいる人にばかり回ってくる 	<p>役員・組織の工夫</p> <ol style="list-style-type: none"> ①役員を順番制にする ②若い人たちに完全に丸投げしてみる ③「どうせ引き受けてくれない」という先入観にとらわれず話してみる
<p>行事の開催・継続に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が少なく継続が困難になってきている ・役員の負担が大きい ・競い合う行事は地域交流の場になるとは限らない ・子どもや若者が少なく、人集めが大変だ ・地区単位で参加する行事しかない 	<p>学校との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> ①小学校の行事と統合させる ②中学生を地域行事に取り込むことで参加者を増やす ③学校やスポ少と日程を調整し、子どもが行事に参加できるようにする <p>既存行事の工夫・見直し</p> <p>【運動会】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地区民運動会を小学校の運動会と統合させる ②地区運動会のお昼を工夫することで午後の部の参加者を増やす 例) グラウンド跡地で BBQ や流しそうめん ※BBQ には永井の牛・野菜・米を使用 <p>【敬老会】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①敬老会をもっと楽しめるようにする 例) 来賓挨拶を短めにする 昔の有名人等ゲストを呼ぶ 芸能発表の飛び込み参加を受け付ける 各集落ごとで敬老会を行う

	<p>【夏祭り】</p> <p>①白崖の夏祭りを発展させ、永井住民なら個人単位で参加できるようにする</p> <p>【市民センターまつり】</p> <p>①地域住民が作った加工品の試食をしたり、歴史文化に関する資料を集めて展示するなど、多面的に発表する場となるよう工夫して、地域づくりに繋がる内容にする</p>
<p>地域 PR に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作物以外にアピールできるものがない ・地域資源を活かしきれていない ・農作物などを販売できる産直等がない 	<p>特産品開発</p> <p>①新メニューを考えてもちサミットに参加する</p> <p>②「料理教室」と銘を打ち、永井独自の料理を生み出す</p> <p>③他地域の成功例についての研究会や勉強会を開き、参考にする</p> <p>販売・提供</p> <p>①古民家を利用し、農家レストランを作る</p> <p>②もちや野菜を販売できる場所をつくる</p> <p>③育苗ハウスを利活用する</p> <p>④「〇〇さん家の〇〇」と名付けて漬物や加工品等を販売する（まずは運動会や夏祭りで試食・振舞いを行う）</p> <p>⑤冬場の販売品として味噌づくりを行う</p> <p>⑥一関や平泉ではなく「永井」の名称を使い野菜等を出荷し「永井」の名を広める</p> <p>観光・人集め</p> <p>①田んぼアートをつくり人を呼び込む</p> <p>②ため池を整備して釣り堀にする</p> <p>③旧南中グラウンドを整備して有効活用する</p> <p>起業・運営</p> <p>①補助金を出し地域で起業家を育成する</p>



第 1 回策定委員会の様子

(2) 人口減少：地域の魅力を発信し、誰もが住みたくなる永井

現状と課題	ワークショップで出たアイデア
<p>高齢化に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化により休耕田が増えたり、手入れができず庭の景観が悪い家が増えた ・ 共同作業に参加するのが難しくなった ・ 空き家が増えた 	<p>支援組織・人材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ①永井人材バンクをつくり、活用する 例) 休耕田・庭の手入れ 共同作業のお手伝い ②地域プロデューサーを育成し活用する 例) 空き家を有効活用する
<p>少子化に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昔と比べ子どもの声が聞こえなくなり、地域が寂しい ・ 少子化に伴い子どもどうしの交流が少なくなった ・ 嫁不足により未婚者が多く、少子化に拍車がかかっている 	<p>子どもどうしの交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ①友達どうしの家で遊べるように送迎サービスをつくる <p>結婚・出産支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域プロデューサーを活用し、モテる男性を育成し自信をつけさせる ②出産や子育てに安心な永井独自の制度をつくる
<p>若者減少に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元定着率が低く、地元に戻ってくる若者が少ない ・ 永井に職場が少なく、若者が地元に残れる環境ではない ・ 農業や家業の後継者不足が進んでいる ・ 若者が主体となる取り組みがない 	<p>Uターンのきっかけづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①企業を誘致し、地元で働ける環境をつくる ②青年会をつくり、若者のコミュニティを形成する ③永井ファームをつくり、雇用の場とする <p>よそからの呼び込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ①農業の良さをPRできる人材を育成する ②永井ファームをつくり、よそから人を呼び込む ③バリューセットとして売り込む 田んぼレンタル+指導者+空き家+裏山 ④他地域の成功例を勉強する



第2回策定委員会の様子

(3) 安全・安心：災害や犯罪が少なく、安心して暮らせる永井

現状と課題	ワークショップで出たアイデア
<p>道路交通に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピードを出しすぎている車が多く危険だ ・ガードレールが少ない ・カーブミラーが少なく、老朽化しているものもある ・木が伸びて道路交通の邪魔になっている ・古くなった標識があり見づらい ・歩道が少なく、高齢者の通行や子どもの登下校が大変危険だ 	<p>スピード違反对策</p> <ul style="list-style-type: none"> ①スピード制限を厳しくする ②看板や人形を設置する <p>ミラー・標識</p> <ul style="list-style-type: none"> ①カーブミラーを清掃する ②カーブミラーや標識の邪魔になっている草木を切る <p>交通事故防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ①夜の道路歩行では反射ベルト等をつけるように呼びかける
<p>防災に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災放送無線が聞き取れない ・災害時の対応体制に不安がある ・崩れそうな崖や空き家がある ・柵のないため池や堤が多い 	<p>災害対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ①FM あすものアンテナを増やす ②災害時の避難場所をしっかりと把握しておく ③永井地区全体での災害訓練を行う ④集落ごとに災害時の対応マニュアルを作成する ⑤安否確認が必要な家や連絡先等を記載した具体的な集落ごとのリストを作成する ⑥日頃から飲み水を備蓄しておく習慣をつける
<p>防犯に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐在所がない ・飲酒運転がなくなる ・施錠しない家が多い等、防犯意識が低い ・外灯が少なく夜道が暗い 	<p>安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ①パトカーの深夜パトロールを強化してもらう ②防犯組織をつくりパトロールする ③危険な場所を調査する ④防犯意識を高めるための講演会を開く ⑤110番の家を増やす ⑥危険な場所に防犯カメラを設置する ⑦日頃から地域住民で声をかけ合うことで防犯や緊急時の助け合いにつなげる ⑧外灯設置を依頼する際に、担当者に夜現場を見に来てもらうなど、まずはしっかり現状を把握してもらう <p>飲酒運転防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ①永井の中で代行運転やタクシーをつくる ②歩いて行ける距離に居酒屋をつくる

(4) 福祉：住民どうして支え合い、健康でいきいき過ごせる永井

現状と課題	ワークショップで出たアイデア
<p>お年寄りに関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者が増加している ・お年寄りを大切にする気持ちが薄れている ・高齢者が集まれる場所が少ない ・介護予防教室等が少ない ・サロン活動を行っても男性の参加者が少ない ・サロンや行事に参加したくても、足がないと出かけられない 	<p>健康づくり</p> <p>①市民センターに健康器具を設置する</p> <p>集まる場づくり</p> <p>①「〇〇ばあちゃんの〇〇」等を販売できる店をつくる</p> <p>サロン活動の拡大</p> <p>①各集落公民館単位で週1回、送迎サービスつきのサロン活動の実施を目指す</p> <p>②男性が興味を持つようなサロンも開催する 例) 囲碁、将棋、麻雀等</p> <p>ボランティア等の活用</p> <p>①社協が行っているボランティアを周知させる</p> <p>②永井版の高齢者向けファミリーサポートセンターをつくり、支援が必要な人の仲介をしてもらう</p> <p>③永井人材バンクを活用し、高齢者宅に週1回お弁当を届け、話相手になる</p> <p>地域の見守り</p> <p>①隣近所どうして日ごろから声をかけ合い高齢者の一人暮らしでも安心して生活できる体制をつくっておく</p>
<p>子ども・子育てに関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを安心して遊ばせられる場所がない ・永井には託児所や保育園がない ・花泉全体をみても長時間や日曜日に子どもを預かってくれる場所がない ・学童クラブがない 	<p>遊び場づくり</p> <p>①子どもを気軽に遊ばせられるよう、市民センターを有効活用する</p> <p>②保育園跡地から遊具をもらい、市民センターグラウンドに子ども遊園地をつくる ※修理や設置をシニア男性に協力してもらう</p> <p>塾と学童の連携</p> <p>①既存の塾を市民センターで開催してもらい、塾の終了後も市民センターで遊べるようにする</p> <p>②人材バンクを活用し、新たな塾も市民センターに開設する</p>

	<p>育児支援</p> <p>①子育てに必要な知識を学べる場や親どうしの情報交換ができる場をつくる</p> <p>学びの環境</p> <p>①永井全域バス通学を実現させる</p>
<p>医療に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AED の設置場所が少ない ・ 救急車の到着が遅い ・ 永井に病院がない ・ 健康づくりに関する意識が低い 	<p>救急時の対応力の向上</p> <p>①消防団に協力してもらい、救急時に備え定期的に集落ごとに救命講習会を実施する</p>



第 3 回策定委員会の様子

(5) 教育文化：地域の歴史や文化を永く愛し、守っていく永井

現状と課題	ワークショップで出たアイディア
<p>生涯学習に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に参加できる事業がない ・図書館に読みたい本がない ・事業がマンネリ化している ・参加者が固定化されていて、新しい人がなかなか参加しない ・開催する曜日や時間の関係で参加できない 	<p>情報発信</p> <ol style="list-style-type: none"> ①図書館の貸し出しリクエスト制度などの利用方法を周知させる ②年代に合わせて情報を発信する 若者：SNS（フェイスブックなど） 高齢者：紙媒体 <p>事業</p> <ol style="list-style-type: none"> ①新しい教室をつくる 例）スマホやタブレットの活用講座、踊り、エアロビ、ダイエット教室等 ②同じ趣味を持つ人どうして自主クラブをつくる ③どんな事業を希望するかを聞く場を設ける ④土日や夜間開催の事業をつくる ⑤旧南中グラウンドを利用して事業を行う
<p>歴史文化に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・永井に関するわかりやすい資料がない ・史跡等が整備されていない ・永井の歴史に関する知識を持つ人が少なくなってきた（高齢化している） ・先人に対する意識が低下している ・子供・指導者ともに郷土芸能の後継者が少ない 	<p>知識の伝承</p> <ol style="list-style-type: none"> ①永井の城、史跡マップを作る ②既存の永井村史は古文書のように書かれているので永井村史の現代版（子ども版/大人版）を作る ③拓本取りを復活させる ④永井の昔話を広報に載せて紹介する ⑤歴史に詳しい人の知識を受け継ぐために、歴史継承グループを結成する ⑥郷土芸能を映像で記録しておく ⑦永井のことでも知らないことが多いので他集落との交流をもつ



第4回策定委員会の様子

(6) 生活環境：豊かな自然と共生し、快適に生活できる永井

現状と課題	ワークショップで出たアイデア
<p>レジャー・施設に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーやコンビニ、飲食店が近くにない ・車社会にも関わらず永井にガソリンスタンドがなく不便だ ・遊べる場所がない ・公衆トイレがない ・今後小学校が統合し、なくなってしまう 	<p>買い物</p> <ol style="list-style-type: none"> ①道の駅をつくる ②移動販売を充実させる (床屋の出張サービス、なんでも屋などを含め) ③永井の便利屋をつくる <p>遊び場</p> <ol style="list-style-type: none"> ①金華山を公園にする ②高齢者と子どもと一緒に利用できる公園をつくる(高齢者用滑り台など)
<p>交通に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車がないとどこにも行けない ・バスの運行量が少ない ・駅や高速道路の入り口から遠い 	<p>交通の利便性の向上</p> <ol style="list-style-type: none"> ①人材バンクを活用し送迎サービスを行う ②福祉介護タクシーを地域で走らせることができるよう、まずは勉強会・研究会を開く ③10人乗り程度の大きさのバスを走らせて高齢者が門口で乗り降りできるようにする(花泉地域の循環バスに)
<p>環境整備に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山や道路へのゴミのポイ捨てがある ・歩道に雑草が多い ・野生動物が多く、農業や交通に支障がある 	<p>ゴミを捨てさせない工夫</p> <ol style="list-style-type: none"> ①看板や人形を設置する ②集落や地区ごとにゴミ拾いを行う



第5回策定委員会の様子

第3章 資料編

1 永井地域コミュニティ活性化協議会

(1) 地域協働体登録後の経過

H27.3.22	永井地域コミュニティ活性化協議会設立総会（設立・登録）
H27.6.5	第1回理事会
H27.6.25	第2回理事会
H27.7.1	第3回理事会
H27.7.7	協働のまちづくり研修会：集落支援専門員 渡辺氏（理事・事務局） 「協働のまちづくり 背景と考え方」
H27.7.21	第4回理事会
H27.8.1	永井地域協働推進員任用
H27.10.20	地域づくり先進地視察研修：北上市口内地区交流センター（理事等） 組織体制、活動状況、管理、地域計画の概要と進捗状況について
H27.10.29	第5回理事会
H27.11.4	第6回理事会
H27.11.15	永井地域協働推進研修会：いちのせき市民活動センター長 小野寺氏（代議員等） 地域協働による地域づくりの進め方について
H27.11.30	第7回理事会
H27.11	地域づくり計画策定方針、アンケート調査実施要領作成
H27.12～H28.1	永井地域づくり計画にかかるアンケート調査
H28.2.18	第8回理事会
H28.2	永井地域づくり計画にかかるアンケート調査集計
H28.3.1	第9回理事会
H28.3.7	第10回理事会
H28.3.10	永井地域コミュニティ活性化協議会だより第1号（情報紙）発行
H28.3.24	第11回理事会
H28.4.19	第1回永井地域づくり計画策定委員会（ワークショップ）
H28.4.28	第2回永井地域づくり計画策定委員会（ワークショップ）
H28.5.10	永井地域コミュニティ活性化協議会だより第2号（情報紙）発行
H28.5.11	第3回永井地域づくり計画策定委員会（ワークショップ）
H28.5.19	第4回永井地域づくり計画策定委員会（ワークショップ）
H28.5.30	第5回永井地域づくり計画策定委員会（ワークショップ）
H28.6.10	永井地域コミュニティ活性化協議会だより第3号（情報紙）発行
H28.6.14	第12回理事会
H28.6.21	第13回理事会
H28.6.28	永井地域コミュニティ活性化協議会定期総会

(2) 規約

永井地域コミュニティ活性化協議会規約

(名 称)

第1条 この会は、永井地域コミュニティ活性化協議会（以下「本会」という。）と称する。

(事務所)

第2条 本会は、事務所を一関市花泉町永井字粒乱田 69-1 に置く。

(目 的)

第3条 本会は、地域住民自らが互いに尊重し協力して、健康及び社会福祉の向上、安全で快適な生活環境の創出、文化、スポーツの振興並びに生涯学習の推進などについて話し合い行動することにより、明るく豊かな地域づくりを推進すると共に、行政も含めた多種多様な団体等との協働による地域づくりを広く展開し地区の発展に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 地域づくり計画の立案、策定及びその推進に関すること。
- (2) 地区の振興並びに発展に関すること。
- (3) 保健・福祉の向上に関すること。
- (4) 生活環境の整備に関すること。
- (5) 防犯・防災・交通安全の推進に関すること。
- (6) 文化・芸術の振興と生涯学習の推進に関すること。
- (7) スポーツの振興に関すること。
- (8) 行政機関・各種上部団体との連絡調整に関すること。
- (9) その他、本会の目的達成に必要な事業に関すること。

(構成員)

第5条 本会の構成員は、永井地区の住民及び各種団体とする。

(役 員)

第6条 本会に次の各号に掲げる役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 理事 若干名
- (4) 監事 2名

2 本会は、必要に応じて顧問を置くことができる。

(役員を選出等)

第7条 理事及び監事は、総会において選出する。

2 会長及び副会長は、理事の互選とする。

3 顧問は、役員会に諮って会長が委嘱する。

(役員等の任務)

第8条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し会務を統括する。

(2) 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるとき、又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代理する。

(3) 理事は、本会の業務を執行する。

(4) 監事は、本会の業務並びに会計を監査する。

(5) 顧問は、本会对し指導助言を行う。

(任 期)

第9条 役員任期は、2年とする。ただし再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは補充できるものとし、任期は前任者の残任期間とする。

3 役員は、任期満了後も後任者が就任するまでは、その職務を行う。

(事務局)

第10条 本会に事務局を設置し、会務を行うため事務局長及び事務局員の職員を置く。

2 職員は、会長が任命する。

(総 会)

第11条 総会は、毎年1回会長が招集し開催する。ただし、会長が必要と認めるときは、臨時に開催することができる。

2 総会は代議員制とし、代議員は別表第1に掲げる者で構成する。ただし、別表第1に掲げる役職を兼務している場合は、当該団体が推薦する者を代議員とすることができる。

3 総会の議長は、その総会において出席した代議員の中から選出する。

4 総会は、代議員の委任状も含めた過半数の出席をもって成立し、その議事は出席者の過半数で議決する。ただし、可否同数の場合は議長がこれを決する。

5 総会には、次の案件を付議するものとする。

(1) 規約の制定及び改廃に関すること。

(2) 役員を選出に関すること。

(3) 地域づくり計画に関すること。

(4) 事業計画並びに収支予算に関すること。

(5) 事業報告並びに収支決算に関すること。

(6) その他本会に関する重要な事項

(代議員の任期)

第12条 代議員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠により就任した代議員の任期は、前任者の残任期間とする。

(議事録)

第13条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 日時及び場所

(2) 代議員数及び出席者数(委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。)

(3) 審議事項

(4) 議事の経過の概要及び議決の結果

(5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。

(役員会)

第14条 役員会は、会長、副会長、理事をもって構成する。

2 役員会は、必要に応じて会長が招集し開催する。

3 役員会は、会長が議長となり次の事項を審議する。

(1) 総会に付議すべき事項

(2) 総会の議決した事項の執行に関する事項

(3) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

4 会議の議事は、出席者の過半数以上の賛成で決し、可否同数の場合は議長が決する。

(専門部会)

第15条 本会の活動を円滑に行うために、次の専門部会（以下「部会」という。）を設置する。

(1) 総務企画部会

(2) 保健福祉部会

(3) 生活環境部会

(4) 地域安全部会

(5) 生涯学習部会

(6) 体育振興部会

2 部会は、運営委員で構成し、運営委員は、各行政区及び地区内で活動する各種団体の推薦により会長が委嘱する。

3 部会には、部会長1名、副部会長1名、書記1名を置く。

4 部会長、副部会長並びに書記は部会で互選し、その任期は2年とする。補欠により就任した部会長、副部会長並びに書記の任期は前任者の残任期間とする。ただし、再任は妨げない。

5 部会長は、所属部会を代表し部会を統括する。

6 副部会長は、部会長を補佐し、部会長事故あるときはその職務を代行する。

7 書記は、部会の庶務を担当する。

(経費)

第16条 本会の経費は、会費、補助金及びその他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第17条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(情報の開示)

第18条 総会の決定事項等本会の情報は、常時開示できるように努めなければならない。

(補則)

第19条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、役員会に諮り会長がこれを定める。

附 則

1 この規約は、平成27年3月22日から施行する。

- 2 本会の設立当初初の役員及び代議員の任期は、第9条第1項、第12条第1項及び第15条第4項の規定に関わらず、設立の日から平成28年3月31日までとする。
- 3 本会の設立当初の事業計画並びに収支予算は、第17条の規定に関わらず、設立の日から平成28年3月31日までとする。

〔別表第1〕（規約第11条第2項関係）

役職名	人 数	備 考
永井地区行政区長	10名	
永井地区集落公民館長	16名	
一関市立永井小学校長	1名	
永井地区福祉推進協議会長	1名	
永井体育協会会長	1名	
永井地区防災自治会長	1名	
一関交通安全協会永井分会長	1名	
永井地区老人クラブ連合会長	1名	
永井地区婦人会長	1名	
永井地区民生児童委員協議会長	1名	
一関市消防団花泉第1分団長	1名	
花泉町婦人消防協力隊第1分隊長	1名	
永井地区郷土芸能伝承保存会長	1名	
一関市立永井小学校PTA会長	1名	
一関市立花泉中学校永井地区PTA会長	1名	
事業運営推進員	5名	

2 地域づくりアンケート

(1) 配布アンケート

みんなでつくろう元気な永井《オール永井》

地域づくりアンケートにご協力をお願いします！

市が進める協働のまちづくりにより、永井地区においても今年の3月22日に「永井地域コミュニティ活性化協議会」を設立いたしました。市民センターでの社会教育を含めた生涯学習事業と合わせ、地域が主体となった協働体制を充実させるとともに、地域課題の把握・解決に向けた取り組みを、各集落や関係団体との協働のもとに永井の地域づくりを推進してまいります。

地域社会を取り巻く環境は年々変化してきており、永井地区においても、人口減少とともに少子高齢化が加速しており、集落によっては事業への参加や、集落の共同作業等が困難になってきている現状も見られます。

このような地域課題の掘り起こしや対策等を検討し、永井地区住民が協力して、豊かで親しみのある、ますます住みよい地域づくりを推進するための指針として、「地域づくり計画」を策定することとしました。

そのために、皆様からいろいろな意見やアイデアをいただき、計画づくりの参考にしたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。

永井地域コミュニティ活性化協議会

該当する性別・年代を○で囲んでください。※高校生以上を対象とします。

性別	年代
男・女	10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上

問1 永井地区の良いところ、自慢できるところを記入してください。

(回答例：良い土や水があり、お米が美味しい。史跡○○。など)

問2 永井地区の課題だと思うことを記入してください。

(回答例：堤があり危険だ。外灯が少ないので歩くのが危険だ。高齢化になった。など)

裏面へ続きます。

問3-(1) あなたは、これからの永井地区をどのような地域にしたいですか。3つまで選び、番号を○で囲んでください。

- 1 子育てしやすく、子どもたちが明るく成長する、子育て重視の地域
- 2 高齢者や障がい者が安心して暮らせる、福祉重視の地域
- 3 若者による活気やにぎわいを創る、若者重視の地域
- 4 スポーツや健康づくりが盛んな、健康重視の地域
- 5 みんなで支え合う、地域コミュニティ重視の地域
- 6 生涯学習、文化活動など生涯を通した、学び重視の地域
- 7 地域の歴史文化を学び、守る、歴史文化伝承重視の地域
- 8 里山や田畑の美しい景観を守る、田園風景重視の地域
- 9 ごみの減量やリサイクル活動を積極的に取り組む、エコ活動重視の地域
- 10 自然が豊かで、うるおいのある生活環境を保つ、自然保全重視の地域
- 11 交通安全や災害に強く、犯罪や事故のない、安心・安全重視の地域
- 12 他市町村の地域の人々との交流など、地域間交流重視の地域
- 13 バス交通を地域で守るなど、生活関連重視の地域
- 14 特産品開発や地域資源を生かした、地域ブランド化重視の地域
- 15 その他【 】

問3-(2) そのために、どんなこと(もの)が必要だと思いますか。

問4 永井地区をより良い地域にするために、自分にできそうなことを記入してください。

問5 永井の地域づくりについてご意見等がありましたらご自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

世帯全員分をまとめて回収用封筒に入れ、12月25日までに回収者にお渡しください。

お問い合わせ先：永井市民センター
所在地：一関市花泉町永井字粒乱田 69-1
FAX・TEL：0191-84-2557
E-mail：nagacen@city.ichinoseki.iwate.jp

(2) 集計結果概要版

アンケートの集計結果について、永井地域コミュニティ活性化協議会が発行している情報誌の第1号で概要をお知らせしているので掲載します。

永井地域コミュニティ 活性化協議会だより（情報紙）

平成28年3月10日

第1号

発行：永井地域コミュニティ活性化協議会

事務局：永井市民センター

住所：一関市花京町永井字粒田69-1

Tel：0191-84-2557 Fax：0191-84-2644

E-mail：nagacen@cityrichinoseki.iwate.jp

地域づくりアンケート

集計結果をお知らせします

平成27年12月に実施しました地域づくりアンケートには、たくさんの皆様にご協力をいただきありがとうございました。

当協議会理事会において取りまとめましたので、概要をご報告いたします。

情報紙 名称募集！

永井地域コミュニティ活性化協議会の活動の様子をお伝えするため、これから情報紙を発行して参ります。

そこで、皆様から情報紙の名称を募集します。たくさんのアイデアをお待ちしております。

永井の自慢★

地域の雰囲気・人柄に関すること

- ・人が温かくて助け合いの体制ができている
- ・地域の人と明るいあいさつができる
- ・地域と小学校の連携がとれている
- ・地域の人達が小学生を優しく見守っている
- ・球技大会や運動会など地域交流の場がある
- ・素朴な人が多い
- ・世代間の繋がりが深い
- ・勤勉、勤労な人が多い
- ・静かで穏やかな地域である
- ・年代、性別問わず仲が良い

歴史文化に関すること

- ・とり舞や獅子舞の文化を継承している
- ・長い歴史がある
- ・杉山古墳
- ・芭蕉が歩いた道
- ・もち文化
- ・旧永井城
- ・瑞昌寺の釈迦涅槃図



自然環境に関すること

- ・温暖な気候で雪が比較的少ない
- ・自然災害や台風が少ない
- ・白鳥や白鷺、鷹の群れが見られる
- ・豊かな自然が多い
- ・国道342号の松並木
- ・夏川沿いの穀倉地
- ・高倉山
- ・広い田園風景
- ・星空がきれい
- ・蛍が見られる

福祉に関すること

- ・コミュニティバスが通っていて病院に行ける
- ・高倉山で健康づくりのためグラウンドゴルフを楽しむこと
- ・老人クラブを中心とした介護予防教室が盛んである
- ・高齢者が元気である



	世帯数	人数 ※15歳（高校生）以上
配布	712	2,068
回収	471	1,172
回収率	66.2%	56.7%

住環境に関すること

- ・宮城県に隣接しているので買い物や通院に便利
- ・高速道路や駅が近くにある
- ・犯罪や事故が少なく治安が良い
- ・市民センターが立派で入りやすい
- ・海産物、山菜等が入手しやすい
- ・ゴミが少ない

産業に関すること

- ・畜産の生産者が優秀である
- ・農業が盛んで美味しい農作物がたくさん採れる
- ・北上川沿いで水に苦労しない
- ・お米がおいしい



永井の課題

地域の雰囲気・人柄に関すること

- ・若い人が少なく、少子化が進んでいる
- ・嫁不足で独身者が多い
- ・地域や人と人との繋がりが薄れてきている
- ・地域の事に無関心である
- ・若者重視のコミュニティ活動が少ない
- ・保守的でチャレンジ精神がない
- ・若者にとって魅力が無い
- ・組織役員等の引き受け手が少ない
- ・若い人、とんでも押し付けられても働いているので困る
- ・行事が多すぎる
- ・過疎化のスピードが速い
- ・高齢化に伴い共同作業が難しくなっている



歴史に関すること

- ・旧永井城の整備がされていない
- ・神社の残し方を考えるべき

自然環境に関すること

- ・手入れのされていない田畑や庭の景観
- ・歩道に雑草がたくさん生えている
- ・木が伸びて道路通行の妨げになっている

福祉に関すること

- ・高齢者の一人暮らしが増えている
- ・救急車が到着するまでに時間がかかる
- ・介護予防教室等に高齢者の参加を促す工夫が必要
- ・老人福祉施設がない
- ・AEDの設置場所が近くにない

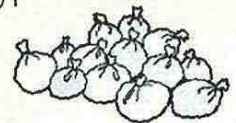


子育てに関すること

- ・子どもたちが素直に育っている
- ・永井小学校の立地環境が良い

住環境に関すること

- ・大型トラックやスピード出しすぎの車が多く危険
- ・防犯意識が低い
- ・花泉のはずれにあり、役所等から遠い
- ・外灯が少ない
- ・交通の便が悪い
- ・近くに日用品や食料品を買える店が少ない
- ・飲食店が少ない
- ・ガソリンスタンドがない
- ・働ける場所が少ない
- ・病院がない
- ・堤が多く、柵もないので危険
- ・排水処理が悪い場所がある
- ・公衆トイレがない
- ・カーブミラーが曇る
- ・カーブミラー、ガードレールが少なく汚れている
- ・防災スピーカーが聞こえない
- ・崩れそうな空き家がある
- ・駐在所がない
- ・道端や山にゴミが捨ててある
- ・家庭内でゴミが焼却されている



産業に関すること

- ・野生動物に農作物を荒らされる
- ・家業、農業の後継者不足
- ・地域資源が豊富だが活かされていない

子育てに関すること

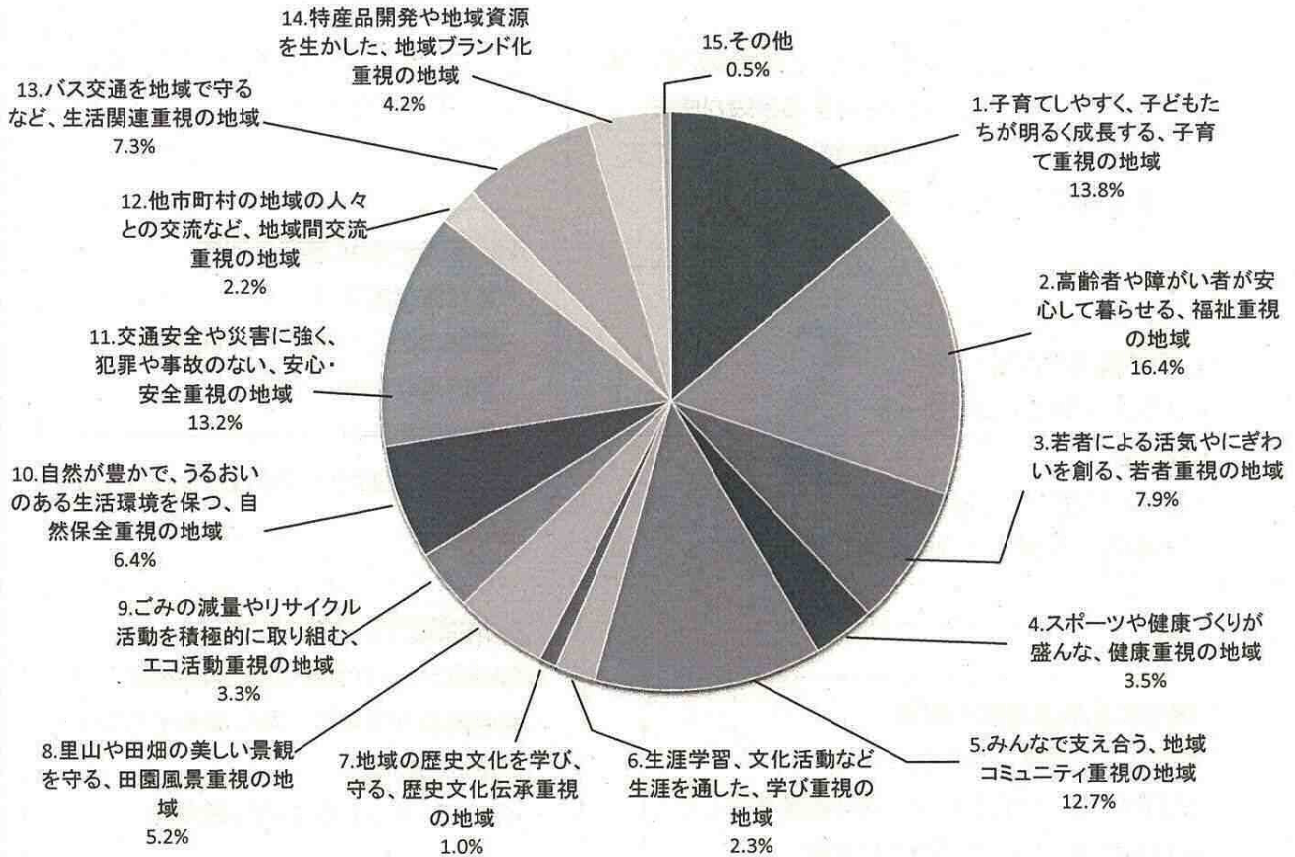
- ・放課後子どもたちを面倒みてくれる場所がない
- ・子どもを安心して遊ばせる公園や施設がない
- ・子どもたち同士の交流が少ない
- ・保育園がない



こんな地域にしたい！



問3-(1) 選択項目の比率



そのためには何が必要だろう・・・



1. 子育て重視の地域

- ・子育てに必要な知識等を知る機会
- ・サークルや、子育て世代の交流の場
- ・市からの補助金支給等、子育て支援の充実
- ・保育園、託児所、幼稚園、小学校
- ・若い夫婦や若い人が残りたいと思う施設や取り組み



3. 若者重視の地域

- ・工場や企業誘致による働く場所の確保
- ・若者がコミュニケーションを取れるような飲食店
- ・若者の意見を言える場
- ・婚活支援
- ・起業家の育成（補助金等で優遇する）

2. 福祉重視の地域

- ・老人ホームや介護施設等の福祉施設
- ・宮城県（登米）との広域連携で救急時の対応の迅速化
- ・地域での声掛けや訪問、見守り
- ・高齢者への食事の配給
- ・運転免許がなくても生活できる環境の整備

4. 健康重視の地域

- ・スポーツセンターや公園
- ・スポーツ指導人材の育成
- ・運動不足を改善できるような行事
- ・手軽に筋トレができる運動器具
- ・旧南中グラウンドの整備と解放



5. 地域コミュニティ重視の地域

- ・行事に参加し、地域の様々な情報を得ること
- ・サークル活動や行事等、いろいろな世代が気軽に集まれる場
- ・永井という広い地域のコミュニティを守るため、他の地域が行っている以上に交流する手段が必要
- ・小学校やセンター主催の行事の参加者増員の工夫
- ・みんなで何かをやろうとする雰囲気

6. 学び重視の地域

- ・クラシック音楽コンサート
- ・講演会
- ・若い人も含めた生涯学習
- ・「～教室」を開く（介護知識など）



7. 歴史文化伝承重視の地域

- ・点在する石碑等の歴史認識
- ・郷土の歴史、伝統を学び、保存継承すること
- ・永井の歴史についての簡潔な文書

8. 田園風景重視の地域

- ・高齢者一人暮らしや少人数家族の行き届かない森林、田畑の環境保全
- ・浄化槽の設置
- ・ゴミを道端等に捨てないこと
- ・耕作放棄地や空き家を活用した景観づくり

9. エコ活動重視の地域

- ・各自ごみ収集のルールを守る
- ・地域の人々の協力
- ・ボランティア活動
- ・ごみ袋に氏名を記入する
- ・大型家電や家具等の引き取りサービス



10. 自然保全重視の地域

- ・木をあまり切らない
- ・地域ごとのごみ拾い
- ・田畑を荒らさない
- ・化学工場を進出させない
- ・山を崩さない



11. 安心・安全重視の地域

- ・外灯を増設する
- ・警察の防犯パトロールの強化
- ・飲酒運転撲滅
- ・施錠の声掛け
- ・災害時の住民への情報漏れをなくす

12. 地域間交流重視の地域

- ・他地域から人が集まるような特色づくり
- ・老若男女が集まり、楽しめるイベント
- ・日頃からの交流
- ・インターネット等での情報発信

13. 生活関連重視の地域

- ・バス、タクシー利用券の発行
- ・バス運行の増便
- ・バス停の場所、ルートの見直し
- ・スクールバスも活用するなどしてコミュニティバスを充実させる（無料）



14. 地域ブランド化重視の地域

- ・高校や大学との交流を持ち自分たちにはない発想と転換で地域を活かせるものを考える
- ・一関、平泉の名前を出さずに永井の名称で野菜を出荷する
- ・特産品開発の指導者
- ・神社や石碑を整備し、住民ももっと永井のことを知る
- ・永井のPR資料の作成

これならできそう！

地域づくりに関すること

- ・永井で子育てをする
- ・永井に住み続ける
- ・地区の行事に参加し人と交流すること
- ・日頃からの地域住民への声掛けや交流
- ・地域の子どもたちと触れ合うこと
- ・永井のよさを地域外に発信する
- ・高齢者、子どもに関心をもつ
- ・人あつめなど、役員への協力
- ・若い人たちの考えを尊重する
- ・イベント等のチラシ作り



福祉に関すること

- ・高齢者の話し相手
- ・高齢者への食事支援
- ・近所の高齢者のお手伝い
- ・健康寿命を長く保つような生活をする
- ・福祉バスを利用し続ける
- ・高齢者の代行運転



生活環境に関すること

- ・ごみ拾い
- ・ごみの減量や分別
- ・草刈りや花を植えるなどの美化活動
- ・高倉山のあじさいの手入れ
- ・通学の見守りやパトロール
- ・交通安全運動

体育に関すること

- ・国体の事務、お世話役
- ・子どもたちへのスポーツ指導

生涯学習に関すること

- ・本の読み聞かせ
- ・簡単なおやつづくり
- ・料理、食育に関すること
- ・インターネット使用方法に関すること
- ・寺子屋的な子どもたちを一時預かりする
- ・永井地区の文化、郷土芸能の保存伝承
- ・先人達の歴史を後輩に伝えること



産業振興に関すること

- ・良い野菜、米を生産する
- ・できるだけ花泉、永井で買い物をする
- ・もち文化を広める
- ・特産品開発



地域づくりについての 自由意見

地域づくりに関すること

- ・ 田んぼの有効活用によるアート、凧揚げ等。
- ・ 老若男女を問わず集会への参加が悪いので多くの人がかかわりいろいろ話し合う必要がある。
- ・ 若者たちがもっと活躍できる場をつくってほしい。
- ・ 各地域から推進委員を1人ずつ(若い人)選出し、年に数回いろいろな他地域を研修させ、地域を創っていくことも必要である。
- ・ 一関の南の玄関として活発になってもらいたい。
- ・ 組織を作って何事にも取り組む姿勢はよいが活動する人間が同じ人ではよくない。
- ・ 透明性のある活動や誰でも参加しやすい事業にしてほしい。
- ・ さまざまな役員があつて大変だ。家庭の事情、年齢的な負担を考えてもらいたい。
- ・ 少子高齢化が進む中、永井地域だけでは限界があるので花泉全体で活気のある地域に向け取り組む必要がある。

生涯学習に関すること

- ・ 既存のサークルばかりではなく新しく教室等を立ち上げてもらうと初心者も入りやすいのではないか。
- ・ 永井の住人が気軽に参加できるイベント開催など、新しい市民センターを有効に活用してほしい。
- ・ 色々な特技を持っている方々が多いと思われます。人材育成のために老若男女問わず色々な教室を開いてほしい。センターの建物が毎日地域の方でいっぱいにしてはどうでしょうか。
- ・ 働いている世代もイベントや行事に参加しやすいよう、土日祝の市民センターの開放が必要ではないかと思う。
- ・ 集落ごとの審査員によるのど自慢チャンピオン大会、集落ごとの子どもたちが喜ぶような盆踊り大会等を開催してほしい。
- ・ 次世代の若者を育てる種々の研鑽の場をつくってほしい。
- ・ しめ縄、とり舞など伝統行事を今後も続けてほしい。

生活環境に関すること

- ・ 夜のジョギングは危険である。反射ベルト等をつける様、もっと呼びかけてほしい。
- ・ 温泉があるといい。
- ・ コミュニティバスの運行路線やバス停を増やし、利用しやすくしてほしい。
- ・ 気軽に受けられる地域独自の宅配サービスなどがほしい。
- ・ 永井にもっと下水道を普及させてほしい。

福祉に関すること

- ・ 1人1人の健康年齢が高くそれぞれ生き生きと楽しく笑顔で生活できることを目指す方策を考えてほしい。
- ・ 少子高齢化が増々進むので、社会保障に頼るだけでなく、ボランティア等でお互いが助け合う地域力を高めていく必要がある。
- ・ 高齢者の健康づくりジムの開設
- ・ 週一でお年寄りのお家にお弁当をもち健康状態を見て歩くサービスがあつたらいいと思う。
- ・ 新しい市民センターができたので高齢者の憩いの場があつたらいいと思います。

体育に関すること

- ・ 体育施設があるので集って体力づくりをする。
- ・ スポーツ大会などになかなか参加できないので無理にしないでいいと思う。

産業振興に関すること

- ・ 永井という名称、銘柄をより多く使う(宣伝する)。
- ・ 県南の地(知)を生かした活性化
- ・ 地域資源を活かした特産品開発をしてほしい。
- ・ 高倉荘園、杉山古墳等をPRできればと思います。
- ・ すぐれた農業技術を基本に地域づくりに活かされればと思います。



アンケートへのご協力ありがとうございました。

今後、この集計結果等をもとに策定委員会で地域づくり計画書の策定を進めていくこととしております。

3 地域づくり計画策定委員会

(1) 開催日とテーマ

策定委員会開催日	ワークショップのテーマ
H28.4.19 (火)	永井の課題の整理
H28.4.28 (木)	地域の将来・ビジョンについて
H28.5.11 (水)	課題の解決策について (地域振興・人口減少・安全安心)
H28.5.19 (木)	課題の解決策について (福祉・教育文化・生活環境)
H28.5.30 (月)	地域づくり計画素案について

(2) 各回の概要

《第1回 永井の課題の整理》

アンケート問2「永井の課題」の全回答を付箋に書き写し、似ているものや、関連性のある回答どうしをまとめて模造紙に貼り、項目分けを行いました。

3グループそれぞれで作った項目を事務局がさらに整理し、以下のように大項目・中項目・小項目に分けました。

小項目は一部抜粋して掲載します。

大項目	中項目	小項目
地域振興	住民意識	個人主義になってきている
		助け合いの精神が薄くなってきた
	行事	参加者が少なく継続が困難だ
		役員の負担が大きい
	PR	農作物以外にアピールできるものがない
		地域資源を活かしきれていない
人口減少	高齢化	休耕田や庭の景観が悪くなる
		空き家が増えた
	少子化	子どもの声が聞こえない
		子どもどうしの交流が少ない
	若者減少	地元定着率が低い
		農業・家業の後継者不足が進んでいる
安全安心	道路	スピードを出しすぎている車が多い
		カーブミラーが少ない
	災害	防災放送無線が聞き取れない
		災害時の対応体制に不安がある
	防犯	防犯意識が低い
		外灯が少なく暗い

大項目	中項目	小項目
福祉	高齢者福祉	一人暮らしの高齢者が増加している
		高齢者が集まれる場所が少ない
	家族福祉	子どもを安心して遊ばせられる場所がない
		託児所や保育園がない
	保健福祉	AEDの設置場所が少ない
		救急車の到着に時間がかかる
教育文化	生涯学習	気軽に参加できる事業が少ない
		参加者の集め方に疑問を感じる
	歴史文化	永井の歴史に関するわかりやすい資料がない
		史跡等が整備されていない
生活環境	施設	スーパーやコンビニ、飲食店がない
		遊べる場所がない
	交通	車がないとどこにも行けない
		バスの運行量が少ない
	環境整備	山や道路へのゴミのポイ捨てがある
		歩道に雑草が多い

《第2回 地域の将来・ビジョンについて》

永井地域について「自慢できること(もの)」、「大切にしたいこと」、「こうなったらいい」の3段階に分けて意見を出し合い、最終的にグループごとに目指したい永井のキャッチフレーズを考えました。

キャッチフレーズの一部を紹介します。

- 永~井未来 住み良い地域
- 地産地消で活気溢れる永井
- 脱発展途上！！再生活・再生産をめざせ！！
- 永~くあ井していつまでも・・・
- もちを食べていつまでも健康老人でいられる永井
- 大切にしたい自然環境あふれる町
- おいしい米で大人も子どもも元気な永井

《第3回、第4回 課題の解決策について》

第1回で整理した課題に対する解決策やできそうなことを考えました。私たちが生活する「今」のことだけではなく、子孫がこれから生活していく「先」のことも考え、前向きに楽しくアイデアを出し合いました。

大項目	中項目	小項目	アイデア
地域 振興	住民意識	個人主義になってきている	・役員を順番制にしてみる
		助け合いの精神が薄くなってきた	・「どうせ引き受けてくれない」という先入観にとらわれず話してみる
	行事	参加者が少なく継続が困難だ	・小学校の行事と統合させる
		役員の負担が大きい	・既存行事を見直し、工夫する
P R	農作物以外にアピールできるものがない	・「料理教室」と銘を打ち、永井独自の料理を生み出す	
	地域資源を活かしきれていない	・古民家を利用して農家レストランをつくる	
人口 減少	高齢化	休耕田や庭の景観が悪くなる	・永井人材バンクをつくり、活用する
		空き家が増えた	
	少子化	子どもの声が聞こえない	・友達どうしの家で遊べるように送迎サービスをつくる
		子どもどうしの交流が少ない	
	若者減少	地元定着率が低い	・農業の良さをPRできる人材を育成する
		農業・家業の後継者不足が進んでいる	
安全 安心	道路	スピードを出しすぎている車が多い	・カーブミラーの清掃や邪魔になっている草木を切る
		カーブミラーが少ない	
	災害	防災放送無線が聞き取れない	・FMあすものアンテナを増やす ・永井全体での災害訓練を実施する
		災害時の対応体制に不安がある	
	防犯	防犯意識が低い	・110番の家を増やす ・防犯組織をつくる
		外灯が少なく暗い	
福祉	高齢者福祉	一人暮らしの高齢者が増加している	・市民センターに健康器具を設置する ・社協が行っているボランティアを周知させる
		高齢者が集まれる場所が少ない	
	家族福祉	子どもを安心して遊ばせられる場所がない	・保育園から遊具をもらい、市民センターに子ども遊園地をつくる
		託児所や保育園がない	
	保健福祉	AEDの設置場所が少ない	・集落ごとに定期的に救命講習会を実施する
		救急車の到着に時間がかかる	

大項目	中項目	小項目	アイディア
教育文化	生涯学習	気軽に参加できる事業が少ない	・土日や夜間開催の事業をつくる
		参加者の集め方に疑問を感じる	
	歴史文化	永井の歴史に関するわかりやすい資料がない	・永井村史の現代版をつくる ・永井の昔話を広報に載せて紹介する
		史跡等が整備されていない	
生活環境	施設	スーパーやコンビニ、飲食店がない	・移動販売を充実させる ・永井の便利屋をつくる
		遊べる場所がない	
	交通	車がないとどこにも行けない	・人材バンクを活用し送迎サービスを行う
		バスの運行量が少ない	
	環境整備	山や道路へのゴミのポイ捨てがある	・ゴミを捨てさせないために看板や人形を設置する
		歩道に雑草が多い	

《第5回 地域づくり計画素案について》

まずは、アンケート回答にあった解決策に繋がりそうな回答をどの項目に当てはまるか考えました。

その後、第2回で考えたキャッチフレーズから全体キャッチフレーズを決め、それ以外のキャッチフレーズを各項目に振り分けました。

最後に、解決策の中からH28年度の事業としてやりたいものを挙げていきました。

以上5回の策定委員会で話し合った内容をまとめ、この地域づくり計画が完成しました。